

体操を始める)

トスカ お願いトサカ、嘘だと言って！

トサカ 間違いはない。あれこそ我が仇の息子……！

クロコ 娘です！ 間違ってます！

トスカ でもあの方は、ハサミも持っていないければ、泡だつて吹いてやしない！

トサカ ああ、トスカ……。やはりカニだと思っていたのか……。

マダム (体操を続けながら) さあ、クロコ。活きのいい二羽のニワトリですよ？
思う存分召し上がれ。

クロコ ハア……。 (大きく長い長い溜息)

トスカ どうか思いとどまって兄さん！ このトスカの恋に免じて。

トサカ 恋!? 恋だと？

クロコ ハア——!?

トスカ そうよ。生れて初めての恋……。

トサカ 寝言は寢床の中で言え。親を殺したおぞましき敵に恋する馬鹿がどこにいる。

トスカ 彼が殺したわけじゃない！

クロコ 女の子だから！ (絶叫)

マダム そうそう、クロコ！ その調子！ 大きなお口でパツクリよ！

トサカ ……トスカ。愚かな妹よ。ニワトリが三歩歩けば忘れることを、その身で証明してみせるのか。兄よりワニを選ぶのか……！

トスカ ……道ならぬ恋とわかった今も、高鳴り続ける熱い思い。この嘴が裂けよう
うと、もう許してとは言いません。妹と呼ばれなくてもかまわない……。父の仇
を討ちなさい。ただし！ 私を殺したその後で！ (と、両手を広げてクロコの前
に立ちはだかる)

トサカ トスカ！

クロコ (たまりかねて) 天国のお母様！ ただちに迎えに来てください……！

トサカ (クロコに) その願い、俺がかなえてやろう。地獄からの迎えを待たずとも、この手羽で送り込んでやる！

トスカ 私の屍を越えてからよ！

マダム みてごらんクロコ、今がチャンスよ！ ニワトリたちが、なぜだかぴたりと動かなくなつた！

クロコ ゴロゴゴオーン！ ゴゴゴオーン！

クロコの大音量の嘆きの声に、マダムは耳をふさぎ、トサカは腰を抜かす。

トサカはただ熱く悲しげな視線をクロコに注ぎ続ける。

クロコ いつだってこんなふうに、なんの前触れもなく、悲しみは降りかかる。始まりのベルも鳴らさず、悲劇は幕を開ける……。あの日もそうだった。よく晴れた暖かな昼下がり。お母様と仲良く並んで、大きく開けた口いっぱい、そそぐ太陽の日差しを浴びた幸せの時。突然高い木の枝から、白い死神が舞い降りてきた。頭に赤い冠をちょこんと乗せて、甲高い声をあげながら。私の愛しいお母様の、のどの奥深くをめがけて……。

トサカ (悲痛な声で) 聞こえるかい、父さん！ もう遅いけれど言わせてくれ！

ニワトリは……ニワトリは飛べないんだよ!!

トサカ いいえ。お父さまは飛び立ったのよ。勇氣と言う名の翼をつけて、はるか遠くお空の彼方へ。

マダム 大声を出したと思つたら、またしょんぼりしているわ。生きたニワトリはイヤなのかしら？ クロコは本当にデリケートな子ね。飼い主の私によく似てる。(と腕まくりを始める)

トスカ あれは不幸な事故だったのよ。誰も殺していない、殺されてもいない。兄さん、もうやめましょう。

トサカ それでも俺は憎いのだ！ 大きすぎるあの口が！

トスカ 憎しみが産むのは憎しみだけよ。喜びや卵は産まれてこない。もしもあの方を殺めれば、今度はあの飼い主が憎しみに身を燃やすはず。

クロコ (指を鳴らしたり深呼吸したりしているマダムに) 何をしているのですか？

マダム。なんだかとっても不吉な予感……。

マダム よーし、やるわよ！ 可愛いクロコのためだもの！（と、トサカの首をしめる）

トサカ コケーコッコッコ！！

クロコ イヤーッ！

トスカ やめて！ 放して！

マダム （必死のトサカに逃げられ）あらあら失敗。あら残念。

トスカ ほらね？ 言ったとおりでしょう？

トサカ まだワニに触れてもいないのに……。

マダム やっぱり素手では難しいわね。そうだ、クロコ。ちよつとそのベルトを貸してちょうだい。（と素早くクロコからベルトを奪う）

クロコ ああ！ お母様！

マダム （トサカの首にベルトをかけながら）怖がらないで。大丈夫よ。これで終わりなんかじゃないから。ただニワトリではなくなって、クロコの血と肉になるだけだから。

トサカ （恐ろしさに動けず）コ、コ、コ、怖ーい！ 怖いよ！ 誰か助けてー！
全然大丈夫なんかじゃないよ！

トスカ （ベルトを自分の首に回し）どうか私を身代わりに！

クロコ 私の大切なお母様に、死してなおニワトリを殺させないで！

クロコ、体当たりでマダムを吹っ飛ばし、ニワトリたちを抱えるようにしてかばう。吹っ飛ばされたマダムは氣を失っている、

クロコ 逃げてください。そして二度と私の前には現れないで。

トサカ 確かにさつきうっかりと「誰か助けて」とは言った。しかし、まさか貴様に助けられるとは……。

トスカ 二度と会えないくらいなら、私はあなたの血と肉になりたい！

クロコ （トサカに）この氣が変になっている妹さんを連れて今すぐに。

トサカ おまえにとっても俺たちは、死神の忘れ形見。憎くはないのか？ 復讐を

なしとげようとは思わないのか？

クロコ 憎くなどない。かわいそうなだけ。みんな愛しい誰かを亡くしたさびしい子供。私たちがなすべきことは、復讐なんかじゃない。もう聞こえない声を聴くこと。それが残された者たちの務め。

トスカ 今はいないお父さまの、

トサカ 父さんの、

クロコ お母様の、

二羽と一匹 もう聞こえない声を聴くこと……。

クロコ さあ早く行ってください。マダムが目を覚まさないうちに。ああ！ その前にお母様を返して。

トサカ (トスカの持ったベルトを見て) お母様？ この蛇に似た代物しろものが？

トスカ 失礼よ、兄さん。この美しさも肌触りも、確かにこの方と同じもの。(と言いながらベルトを腹に巻き始める)

クロコ なにをするの!?

トスカ (しっかりと装着) ご安心ください。大事なお母様に、二度と無駄な殺生せつしょうなどさせぬよう、このトスカ、あなたのおそばで命に代えてもお守りいたします！

クロコ 有難迷惑だから！(ベルトを奪い返そうとする)

トスカ (すばやく逃げて) どうか私にこのお役目を！

クロコ (追いかけている) お兄さんからもなんとか言って！

トサカ 一度言い出したら譲らぬ妹だ。ただし、忘れっぽいことが一縷いちるの望み。その時をひたすら待つしかない。

クロコ そんなー！

トスカ (追われながら) 初めて知った。愛しい方に追われるこの喜び！ 私、一生忘れない！

クロコ もうイヤー！

マダム (目を覚まし、追いかけてっこをしているクロコを見て) まあ、クロコ！ なんだか元気いっぱいじゃない。そうかわかった！ 広いお庭でひとりぼっちで、

おまえはさびしかったのね。仲間ができてうれしいのね。そういうことならニワトリたちも、この庭で飼うことにしましょう！

ニ羽と一匹（驚き・喜び・落胆、それぞれの思いで）嘘でしょう！?

マダム 早速名前をつけなくちゃ。

トスカ トスカと申します。

マダム おまえはコケコ、（トサカに）おまえはコケオよ？

トサカ トサカだ！

クロコ 一度言い出したら譲らぬマダム……。

マダム ああ、なんて気持ちのいい日なのかしら。仲良しになった記念に、みんなでいっしょに歌いましょう！

あまりに前向きなマダムにつられるようにしてニワトリもワニも歌いだす。

森のような庭の中

沼のような池のほとりで

陰気なめそめそじめじめしてた

湿っぽい日々よ さようなら

朝と一緒に太陽が

風と一緒に未来の時が

陽気な仲間を運んできた

新しい日々よ こんにちは

庭にはニワトリニ羽にワニ

早口言葉みたいで素敵

庭にはニワトリニ羽にワニ

元気が出てくる魔法の言葉

庭にはニワトリニ羽にワニ
庭にはニワトリニ羽にワニ
庭にはニワトリニ羽にワニ
庭にはニワトリニ羽にワニ

マダム よかったわね、クロコ。

クロコ ……そうでしょうか、マダム。

マダム 食べてもいいお友達よ？

トスカ・トサカ コケーコッコッコ！

クロコ ゴロゴロゴーン！

庭にはニワトリニ羽にワニ

早口言葉みたいで素敵

庭にはニワトリニ羽にワニ

元気が出てくる魔法の言葉

庭にはニワトリニ羽にワニ

庭にはニワトリニ羽にワニ

庭にはニワトリニ羽にワニ

庭にはニワトリニ羽にワニ

おしまい。